

環境のための小さな一歩シリーズ

## 「草の根炭焼きで脱炭素」

2025年3月9日(日)

発表団体：NPO 法人かいろう基山、NPO 法人グリーンシティ福岡、福岡市水源林ボランティアの会

森や竹林の手入れで出た木や竹、落ち葉を炭に焼く、「草の根」的な活動を行う3団体に発表していただきました。それぞれの団体が作った炭も会場に持って来ていただきましたよ。後半はグループに分かれての交流タイム。とても賑わっていました。

### NPO 法人かいろう基山



松原幸孝さん

竹林整備を柱に、ボランティア養成や竹の資源化の取り組みなどを行われています。多孔質で土壌改良に適したポーラス炭や水の浄化などに使用できる高品質な竹炭を商品化。長年の活動や功績から、令和6年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。



↑ ポーラス炭

### なぜ炭焼きが脱炭素？

植物は光合成で大気中の二酸化炭素を固定しますが、枯れて腐ったり、薪として燃やすことで再び二酸化炭素は大気中に排出されます。



一方、炭は分解されにくいので、何百年、何千年と二酸化炭素を固定することになります。

### 福岡市水源林ボランティアの会



下池正巳さん

水源林を守る活動を続ける同会が、昨年、作った炭焼き窯を紹介。「消えゆく山村の文化遺産」である炭焼きを、窯の建設から炭焼きの手順や管理まで、熟練者から受け継ぎながら継続されています。



### NPO 法人 グリーンシティ福岡



志賀壮史さん

海の中道海浜公園のイベント「まつばら楽校」で実施している松葉の炭づくりについて紹介。来園者と集めた松葉を炭化器で焼いた炭。土壌改良材として配布しています。



まもる一む福岡の「交流・活動の支援」をお伝えする

# 環境活動 NEWS 11号

まもる一む福岡は、NPOや市民団体の環境活動を応援するため、交流やネットワークの場づくり、情報発信などを行っています。

環境活動 NEWS11号では、2024年度に実施したイベント等の様子をお届けします。

- 環境のための小さな一歩シリーズ 捨てずにアップサイクル
- 活動発表会プラス1 みんなの学び場・ふくおかの環境学習施設
- 環境のための小さな一歩シリーズ 身近な自然探検 ～観察スポットと生き物の探し方～
- 環境のための小さな一歩シリーズ 草の根炭焼きで脱炭素

環境のための小さな一歩シリーズ

2024年10月19日(土)

## 「捨てずにアップサイクル」 講師：太田泰子さん(ウエットランドフォーラム)



ゲスト/太田泰子さん

環境活動に取り組む団体や個人等の交流・連携を行う「環境のための小さな一歩シリーズ」。第1回のゲストは、ウエットランドフォーラムで活動する太田泰子さん。気候変動の話題から、3R、企業の取り組みなどについてお話いただきました。後半では捨てられるはずだった米袋を使ったエコバッグづくりを行いました。丈夫で長持ちしそうなオリジナルバッグができましたよ！

### アップサイクルって？

捨てられるはずだったものに新たな価値を与えて再生すること



このニュースレターで紹介するイベントでは、後半に参加者・ゲストが4,5人のグループに分かれる交流タイムがあり、その時間が盛りあがります。ゲストに質問する人、日頃の活動をお話する人、情報交換する人など様々。お互いに知り合うことで学びが深まったり、活動のヒントを見つけたりすることも。連携や共働のきっかけになると嬉しいです。

(まもる一む福岡アドバイザー/志賀)



↑ カレンダーの裏紙を利用した資料

↑ ふとんの綿から糸を作った例



↑ 短時間の作業でエコバッグ完成！



完成!

福岡市保健環境学習室「まもる一む福岡」では、NPOや市民団体などによる環境活動を応援するための交流やネットワークの場づくり、情報発信などの取り組みを行なっています。環境活動に関心のある皆さん、活動に取り組むNPO等の皆さん、ぜひお気軽にご相談・ご参加ください。



### 環境活動交流支援の取り組み

活動発表会プラス1 環境のための小さな一歩シリーズ

情報の収集・発信

福岡市保健環境学習室 **まもる一む福岡**  
MAMOROOM FUKUOKA

住所 〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34  
電話 092-831-0669  
開館時間 10:00～17:00  
休館日 月曜・火曜(休日の場合はその直後の平日)  
年末年始(12/28～1/4)

活動発表会プラス1

2025年2月22日(土)

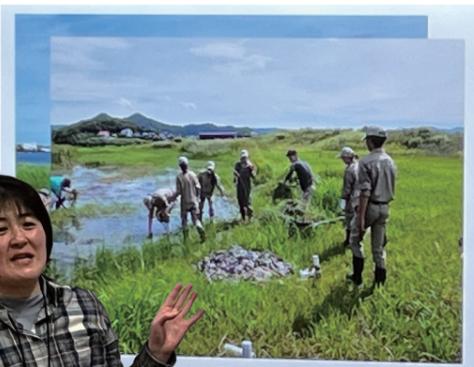
# 「みんなの学び場・ふくおかの環境学習施設」

発表団体：アイランドシティはばたき公園、海の中道海浜公園環境共生の森、かなたけの里公園、西部3Rステーション、まもる一む福岡

森づくりや農体験、湿地の生きもの、リサイクルなど環境について楽しく学べる5つの環境学習施設の職員の方々から、人気の体験イベントや施設の見どころ・魅力を紹介していただきました。発表の後はグループに分かれ、自己紹介や感想・意見交換を行いました。

## アイランドシティはばたき公園

開園からまもなく1年。湿地周辺には様々な生きものが生息していて、これまでに81種の野鳥が見られたそうです。観察会や保全作業のイベントを通して、生きもの好きの子どもや若者を育てつつ、公園を育てるという視点を持って活動しているとのことでした。



岩熊志保さん

## 海の中道海浜公園 環境共生の森

「ゼロからの森づくり」をテーマに、植樹や森のお手入れ、間伐材を使ったクラフト体験、農作業体験などを実施。様々な環境学習プログラムに取り組んでいます。今年度はキッズボランティアが企画したイベントも実施。今後、他施設のボランティア同士の交流もできたらと考えているとのことでした。



平子理紗さん

## 西部3Rステーション

市民から持ち込まれた不用品の再利用、3Rが学べる講座等を実施されています。人気の陶器市では、1.2tの陶器が持ち込まれ1.0tが引き取られたそうです。小学校や公民館、商業施設など、積極的にアウトリーチの取り組みを行なっているそうです。「ゴミ減量」というとネガティブなイメージもあるが、脱炭素や生物多様性の取り組みをしている様々な団体と共働して一緒に考えていきたいとのことでした。

参加者が持参してくださったアップサイクル作品



谷憲司さん

## かなたけの里公園

荒巻祥大さん

四季折々の農業体験や自然観察会、絶滅危惧種の保全活動等、様々なイベントやボランティア活動を展開されています。公園内に併設されたカフェを拠点に、「コーヒーかす肥料」を開発し、近隣の遊休地での野菜づくりも始まっています。



発表の後はグループに分かれて自己紹介や意見交換を行う交流タイム。参加者同士や施設間の交流が深まりました。

## まもる一む福岡

まもる一む福岡からは、生物多様性や脱炭素などの環境分野の他、健康や保健の幅広いテーマの講座、実験イベントを実施していること。今年度は知名度を上げるため、「出張まもる一む」として福岡市民防災センター等へのアウトリーチ活動を始めたことをご紹介します。



稲益崇さん



## 環境のための小さな一歩シリーズ

2024年11月17日(土)

# 「身近な自然探検」～観察スポットと生き物の探し方～

講師：野々 大樹さん(福岡生き物新聞)



図書コーナーに生きもの図鑑がズラ〜ッ！

シリーズ第2回はSNSを通じて身近な自然の姿を発信する野々大樹さんがゲスト。ふくおかで見られる身近な生きもの紹介や観察方法の他フィールドマナーについてもお話いただきました。後半は自分が気になる生きもの一年の暮らしがみえる「自然探検カレンダー」を制作しました。



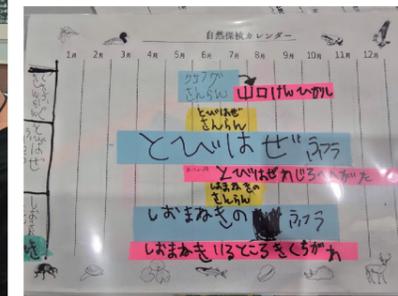
### 福岡生き物新聞

野々さんのInstagramアカウント福岡近郊で見られる様々な生きもの動画を投稿されています。

ゲスト/野々大樹さん



情報交換しながら楽しくカレンダー制作



自然探検カレンダー完成！



マイカレンダーを紹介